

# 雅子さま、ご出産へ

## 宮内庁病院に入院

### 結婚から8年半

妊娠十カ月の皇太子妃雅子さまは二十日、皇居・宮内庁病院に入院された。出産に向けた兆候が強まったとみられる。

皇太子ご夫妻にとっては結婚八年半で初めての子どもで、男の子ならば皇太子さまに次ぎ皇位継承順位二

位。天皇、皇后両陛下にとって初めての男の子の孫となる。

三十七歳での出産とな



雅子さま

り、東宮職御用掛を務める堤治東大教授(産婦人科)を中心とする医師や看護婦ら医療スタッフが万全を期して見守る。

宮内庁は今年四月十六日、雅子さまの懐妊の可能性を発表。五月十五日には、妊娠三カ月と診断されたことを明らかにした。

懐妊の可能性が判明して以来、雅子さまは、地方訪問など体に負担がかかる公務を休み、住まいの東宮御所で静かに過ごされてきた。

経過は終始順調で、十月二十六日には、妊娠九カ月の目(戌(いぬ)の日)に安産を願って執り行われる皇室伝統の行事「着帯の儀」を済ませた。